

社協だより

第161号

2014.3.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : http://www.nogata-shakyo.org/



植木校区で行われた、徘徊模擬訓練の様子。
徘徊役の方に声掛けの練習をしています。
(2013年11月24日)

もくじ

●「聞こえないって楽しい！」…………… 2

●情報の広場

(民生委員・児童委員、主任児童委員改選)

図書室(永遠の0) …………… 3

●お知らせ

(第39回直方ボランティアのつどい・ヘルパー募集・
ボーイスカウト直方第3団歳末たすけあい街頭募金)

ご寄付(福岡びびき信用金庫イングスクラブ) …… 4

昨年11月24日に、植木校区にて、徘徊模擬訓練が行われました。

日本は急激な長寿社会になり直方市でも総人口に対する65歳以上の比率は28.7パーセント(平成25年12月現在市役所調べ)になっているようです。

人生の終末をピンピンコロリでと願い、主体的に生きたいと誰しも思っています。が、年を重ねる毎に身体機能が衰え、家族・地域・行政のお世話にならなければ生きていけないのが私たちの定めのように思います。そんな時に植木校区の試みは大変素晴らしいものと思えてなりません。実行委員長さんの「徘徊模擬訓練を通して地域の繋がりを強く感じた」の言葉はこれからの私たち一人ひとりの生き方の手本として示唆を与えて貰ったように思いました。

(石黒)



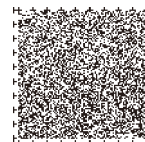
kantera

カンテラ



「聞こえないって楽しい！」

福岡県立直方聾学校中等部2年 安藤 楓 さん



イベント

人権作文コンテスト

県最優秀賞受賞

安藤楓さんにお会いしたのは、

感田にある福岡県立直方聾学校の校長室でした。彼女はこのたび福岡法務局・福岡県人権擁護委員連合会主催の第33回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会において最優秀賞に選ばれました。

■賞を頂いて...

楓さんは、笑顔の素敵な元氣はつらつとした2年生の女子です。家庭では5人きょうだいの長女です。お話の中、しっかりと自分をもっていることがわかります。賞を頂き「うれしい」と言われ、「幼いころスーパで出会った親子に読んでもらいたい」と言われました。これからもたくさんの人たちと出会い、感じていくことでしょう。私は楓さんにお会いできたと、この場を設けてくださった先生方に感謝いたします。ありがとうございました。
(田中)



「聞こえないって楽しい！」

福岡県立直方聾学校 2年 安藤 楓



ある日、お母さんと一緒にスーパールに行

った時、ある親子とすれ違いました。その女の子が私の補聴器を見て、「あの赤い補聴器かわいい！」と言おうとしたとき、バチーンと女の子は母親にたたかれたというのを、お母さんから聞きました。なぜその女の子がたたかれたのかわからず、お母さんに聞いてみると、「楓を見たらだめだと思ったんじゃないか」と言われました。私は、どうして見たらいけないのかがまだ納得できません。聞こえないことは恥なかなと思いました。私は三歳の時からだんだん聞こえなくなってきました。これまで聞こえないことに向き合ってきた自分の生いたちをふり返り、その親子の行動を考えてみることにしました。

私が四才、妹が二才のときでした。妹と私が車の中でお母さんと話していると、妹は聞こえるのに私だけ聞こえませんでした。

そのことを不審に思った両親が、周りの病院で私の耳を見ってくれる所を探してくれました。そして、病院の先生に「補聴器の色はどれがいい？」と聞かれ、私は「赤がいい」と言いました。初めて補聴器をつけた時、私はお母さんの声や今迄聞こえなかった周りの音がよく聞こえてびっくりしたし、とてもうれ

しかったことを覚えています。

私は難聴の特別支援学級に入学しました。算数と国語は難聴学級で、それ以外は普通のクラスの中で勉強しました。普通クラスで苦労したのは授業です。先生が説明しながら書いていくので、口元を見て先生の声を聞きながら学習していました。すると、どうしてもノートを書くのが遅くなりました。だから、音楽で楽器を吹いたり弾いたりするのも苦手でした。みんなはどんどんうまくなるので、私はお母さんと遅れた分を、一生懸命家で練習をしたこともありました。こうして、聞こえない分、家で努力することが多かったです。疲れた時は、休み時間を利用して読書をすることも多くなりました。

六年のとき、普通校に転校しました。やっぱり困ったのは授業です。一回聞き逃すと、みんなはスラスラと解けるのに、自分だけ終わらないことがよくありました。友達と話す時も補聴器で聞いて、相手の口を見ながら会話についていくのに必死でした。転校したころからまただんだん聞こえなくなってきたので、FMマイクを買ってもらいました。FMマイクとは、補聴器で聞こえなかった時のための補助マイクです。FMマイクを初め

てつけたときは、どんなに小さい音でもしっかり耳に入ってくるので、授業中に困ることはないと思いました。だから、とてもうれしかったです。

中学へ入学するとき、私は聾学校に行くか、普通中学に行くかを聞かれました。でもそこは迷わず、「聾学校に行きたい」と言いました。先生に、「普通中学でもやっていきますよ。行っているんだよ」と言われたけれど、普通校だと勉強もますます分からなくなるのが不安でした。だから聾学校に入学し、頑張ることを選びました。聾学校では、ゆっくりじっくりと進むので、とても分かりやすく、授業が楽しくなりました。

そして私は今、中学二年生になりました。常に「聞こえ」と向きあい、進路も自分で決めてきました。分からなかった勉強が分かるようになり、自信が持てたり、友達と手話で会話をしたり、放課後にサッカーをして遊んだりして、自分らしく楽しく過ごしています。もし、私が幼いころスパーで出会った親子に会えるなら、こう伝えたいです。

「赤い補聴器は私のお気に入り」だと。

聞こえないことは恐怖でも恥でもありません。補聴器をつけているからこそ、自分のやりたいことが選べました。恐怖だから、恥だからといって、私や他の障害者の人を避けないで仲良くしてほしいです。そして、障害者のことをもっと知ってほしいです。聞こえないからもっと楽しい生き方が選べることを。

場 広 の 報 情

民生委員・児童委員、主任児童委員改選

平成25年12月1日に、3年に1度の民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行われました。前号では各校区の民生委員・児童委員と主任児童委員をご紹介しました。今号では民生委員児童委員協議会会長・副会長及び、各校区の会長をご紹介します。

また、民生委員児童委員協議会では、民生委員・児童委員が関わる各分野について、専門的に活動するために、専門部会を設け、各部会長を中心として取り組みを行っています。

直方市民生委員児童委員協議会

会長

副会長

各校区民生委員児童委員協議会

南校区会長

北校区会長

西校区会長

新入校区会長

感田校区会長

上頓野校区会長

下境校区会長

福地校区会長

中泉校区会長

植木校区会長

東校区会長

心身障がい部会

部会長

副部会長

児童部会

部会長

副部会長

高齢者部会

部会長

篠原 照行
山口 義文

大塚 恵信

能間 聡

志鶴 隆俊

石丸 淳

吉原 和敏

高宮 俊博

千々岩 良積

大坪 喜代美

増井 實子

花田 勝昭

山本 朝男

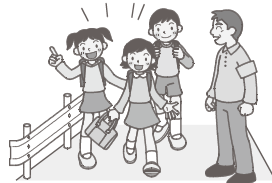
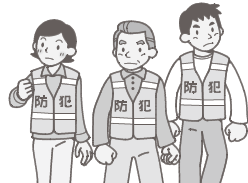
田代 善久

千々岩 良積

古田 晋作

澤見 浩

丸本 直彦



図書室

永遠の0

著者 百田 尚樹

発行所 講談社

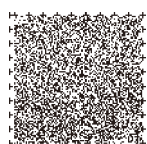
直方市立図書館蔵書

映画化

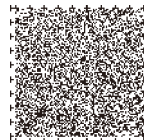


「娘に会うまでは死ねない、妻との約束を守るために。」

そう言い続けた男は、なぜ最後に、一人の部下の命を救うために、あえて自ら旧式特攻零戦に乗り替え命を落としたのか。終戦から半世紀以上たった夏、孫の健太郎とその姉慶子は死んだ祖父の生涯を、全国に散らばっている数少ない、戦友や、わずかも戦地で関わりがあった人を訪ね歩いた。零戦の天才パイロットながら臆病者のそしりを受け、敗戦直前、ラバウル・ニューギニア・ガダルカナルなど激戦の南西太平洋諸島沖で闘った、想像と違う人物像に戸惑いつつも、一つの謎が浮かんでくる。記憶の断片が揃う時、明らかになる真実とは。(広田)



第39回直方ボランティアのつどい part3 参加者募集



ボランティア活動実践者が会おう、つながる、気づく場として、直方ボランティアのつどいを開催し、今回が最終回になります。

ボランティアグループの実践報告や問題提起から出た課題を、グループワークへつなげ、「新メンバーの加入」や「ボランティアとして高齢化とどう向き合うか」をテーマとして意見を交換しました。

参加者からは「活動の再確認ができました」「視野が広がりました」などの意見もあり、活動のアイデアや目的を確認できる機会となっています。

Part 3の活動報告は「点訳サークルきつつき」と「おとのわ」です。ぜひご参加ください。

■日 時 平成26年3月23日(日) 13時～15時
■会 場 直方市総合福祉センター(直方市山部616-145)
■対 象 ボランティアグループ活動実践者
(1団体3名まで)

■コーディネーター
NPO法人NPO九州理事 今村晃章氏
【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会 TEL 0949 (23) 2551

ヘルパー募集

- 資格
 - ・ヘルパー2級以上
 - ・普通自動車免許
 - 活動時間
 - ・7時～21時
 - ※勤務時間は相談の上
 - 賃金(時給)
 - ・生活援助 (日 中) 1,100円 (早朝夜間) 上記2割増し
 - ・身体介護 (日 中) 1,550円 (早朝夜間) 1,860円
 - ・移動支援(ガイドヘルプ) (身体有り) 1,400円 (身体無し) 1,260円
- 【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス
香月・毛利
☎0949 (23) 2551
(月～金 8時30分～17時)
- ※詳細は
お問い合わせください。

ボーイスカウト直方第3団 歳末たすけあい街頭募金

12月22日に、ボーイスカウト直方第3団の皆さんによる毎年恒例の歳末たすけあい街頭募金が行われました。ボーイスカウトでは、さまざまな活動を通して、心身ともにバランスの



取れた人格形成を目指しています。ボーイスカウトの皆様のご協力に感謝致します。

福岡ひびき信用金庫 イングスクラブ	一般寄付金		香典返し寄付金		平成25年11月11日 ～平成26年2月10日 21件 合計金額 555,000円 (お名前は承諾された方のみ 掲載、敬称略)
	中 泉	植 木	殿 町	植 木	
	安永 幸子	下元 盛光	(故) 江 賢一	(故) 島田スミエ	
			今定 梢子	井原 広子	
			深見 祐助	花田 邦人	
			(故) 笠井 貫一	(故) 池田 昌子	
			藤井 将雄	松下 寿美子	
			平野 俊樹	井口 晃	
			桑野 宗廣	武末 忍	
			(故) 武内 美智子	吉田 シズカ	
			直方 吉田	永満寺 (故) 吉田美代子	
			植 木 武内		
			上 野 (故) 武末 忍		
			直方 桑野		
			神正町 井口		
			下新入 松下		
			赤地 (故) 池田 昌子		
			直方 藤井		
			下新入 平野		
			山部 (故) 笠井 貫一		
			知古 (故) 花田 邦人		
			溝堀 深見		
			頓野 井原		
			下境 今定		
			植木 江賢一		
			殿町 (故) 島田スミエ		
			植木 下元		
			中泉 安永		

ご寄付ありがとうございます。
ごこいます。



2ページの安藤さんの人権作文を拝読して、私は中途障害者になったときに、それまでの障害者への偏見や差別する心が、そのままブーメランのように自分に返ってきて、自分自身を苦しめることになり、現実を受け入れるのに時間がかかりました。彼女は中学2年生ながら、プラス思考で、ありのままを受け入れる姿勢に感嘆しました。

(藤田)

編集後記



12月15日に恒例の「愛の募金活動」を実施され、募金の一部をご寄付頂きました。イングスクラブは、ボランティア活動等を通じ地域の活性化に貢献されています。クラブの皆様のご厚意に感謝致します。

福岡ひびき信用金庫
イングスクラブ
より寄付

